

建交労かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

建交労神奈川県本部

第21回定期大会開催！

開会にあたって大島副委員長は、来年の定期大会で改憲に向けた策動を続ける中で開催される21回大会であり皆さんの活動的な討論をお願いしたいと挨拶、続いて大会議長に鉄道から佐々木氏、県南から佐藤氏が選出され議事が進行しました。

この一年間のたたかいが重要

10月6日、横浜開港記念会館で定期大会が開催されました。



開会挨拶をおこなう
県本部大島副委員長

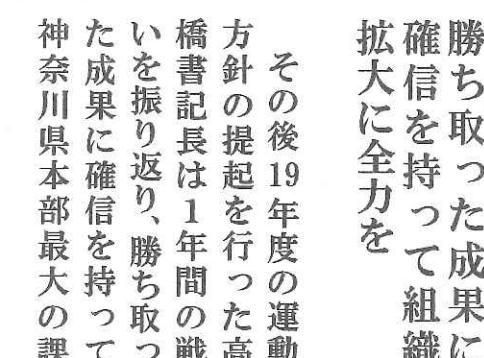


議長団の向かって右が
佐藤さん左が佐々木さん

大会に駆けつけて

指摘し、そのためにも県本部の組織拡大に向けて取り組みを強化して行こうと強調しました。

執行部を代表して挨拶にたつた伊藤委員長は、野党共闘が結成20年を迎えたことを報告、国会の情勢により安倍内閣の目指す改憲発議ができなくなつたことも報告され、来年は衆院選が予定されている中でこの一年間のたたかいが阿部内閣を退陣に追い込む重要な課題になると



大企業の利益を優先してアメリカ言いなりで平和・民主主義・日本経済を破壊する安倍内閣の早期退陣を迫る野党共闘と市民共闘の飛躍の重要性が語られました。

星食休憩後に始まつた討論のトップバッターとして三昭運輸分会の清野分会长は、高橋県本部書記長とともに県本部を代表して参加しました。

伊藤県本部委員長は、2019年原水爆禁止世界大会・長崎で感動した内容を報告し、来年の大会には若い仲間がぜひ参加してほしいと呼びかけ、同時に核廃絶に背を向け続ける日本の政府を厳しく批判しました。

伊藤県本部委員長



原水禁長崎大会の
感動が



題である組織拡大に全組織が全力を挙げて取り組もうと呼びかけました。

方針を提起する県本部高橋書記長

組織が全力を挙げて取り組もうと呼びかけました。

たたかいは証人尋
間に入り本格化

三昭運輸分会の山崎代議員は会社の不当労働行為に対し救済を求める労働委員会でのたたかいが11月28日の期日から証人尋問に入り本格化することを報告、労働委員会への傍聴支援と早期救済を求める団体署名・個人署名のいっそうの協力を求めました。

また労使関係を悪化させた悪質社労士を排除するたたかいは、東京社労士会が当該者労使に注意勧告を出すところまで前進していることも報告しました。



県南支部の佐藤代議員はこの一年間のたなかいを総括的にまとめ、一時金を含む賃金闘争や、企業要請行動をはじめ学習活動・宣伝行動・全国トラック部会への結集など多くの活動で奮闘してきたが残念ながら組織は減少してきたことが報告され、今後組織拡大と次世代幹部の育成の育成に全力を挙げる決意を表明しました。



学童保育支部の代議員からは行政から補助金が打ち切られて 16 年になると報告が。労働条件の改善には行政からの補助金支給がなんとしても必要な条件になると訴えが。学童保育に働き甲斐を持つには要求を前面にして今後とも奮闘していくと決意が。

事業団支部の代議員は建交労結成20年の歴史に自身と確信が持てると発言。



代議員の発言に対する
まとめを高橋書記長が
おこなつた後、採決に入
り、すべての議案が満場
一致で採択され、大島副
委員長の閉会挨拶の後
清野執行委員の団結ガ
ンバローで閉会しまし
た。

粘り強く活動を

大会参加の来賓の方々
神奈川労連

神奈川労連
住谷和典議長
神奈川土建

一般勞働組合
古溝潤書記次長

横浜法律事務所
杉本明弁護士

日本共産党

高山修労対部長
ありがとうございました
ありがとうございます

高山修労村部長
ありがとうございました
ありがとうございます